

百里基地・茨城空港対策特別委員会会議録

招集年月日	平成30年3月12日（月）	予算特別委員会終了後
会場場所	議会委員会室	
出席委員	笹目雄一委員長，藤井敏生副委員長，荒川一秀委員，関口輝門委員，大槻良明委員，長島幸男委員，石井旭委員，植木弘子委員，鈴木俊一委員，村田春樹委員，市村文男議長	
欠席委員	無し	
職務出席者の職氏名	小松都市建設部長，秋元基地対策課長，大原課長補佐，山口産業経済部長，小川空港対策課長，平井空港対策課係長，富田書記	
協議事項	1. 基地対策課報告について 2. 空港対策課報告について 3. その他	
会議 (発言等の要旨)	<p>開 会 午後5時</p>	
藤井副委員長	<p>予算委員会に引き続きまして，大変お忙しい中をお疲れの中ただいまより，百里基地・茨城空港対策特別委員会を開催したいと思います。</p> <p>まず，最初に笹目委員長ご挨拶をお願いします。</p>	
笹目委員長	<p>予算特別委員会に引き続きまして，委員の皆様方にはお疲れのところご出席賜りまして，誠にありがとうございます。</p> <p>本来でしたら4時頃から始められるのかなと思っておりましたが，白熱した質疑が交わされまして5時過ぎてしまいました，何卒これからの百里基地・茨城空港対策特別委員会の議事進行に対しまして，皆様方のご協力をよろしくお願ひしたいと思います。</p>	
藤井副委員長	<p>ありがとうございました。続きまして，市村議長よりご挨拶いただきます。</p>	
市村議長	<p>それでは，改めましてご苦勞様でございます。</p> <p>先ほど委員長からもありましたように，予算委員会に引き続いてということで大変ご苦勞様でございます。</p> <p>ついこの間，防衛省のほうからFAXで連絡がありました。</p> <p>そしてまた，昨年の暮れに議会のほうから提案をさせていただきました5市町連絡会といういろいろあるわけですが，小美玉市独自の放送受信料の問題や，茨城空港の更なる延伸喜ばしいことではありますが，いろいろご報告をいただいて委員会をスムーズに進めたいと思いますので，よろしくお願ひしたいと思います。大変ご苦勞様です。</p>	
藤井副委員長	<p>ありがとうございました。早速協議に入りたいと思います。</p> <p>協議の進行を笹目委員長お願いします。</p>	
笹目委員長	<p>それでは，早速協議に入ります。</p> <p>協議事項1，基地対策課報告について議題といたします。執行部の説明を求めます。</p>	
秋元基地対策課長	<p>それでは，基地対策課の報告ということで，2点ほどご報告させていただきます。</p> <p>まず，1点目につきましては，百里基地周辺5市町連絡会の発足ということで，昨年の12月29日に開催されました百里基地・茨城空港特別委員会におきまして，F-4戦闘機火災及び航空観閲式におけるオスプレイ・戦略爆撃機祝賀飛行の実施に係る百里基地対策に関する関係自治体及び市町議会による要望運動の経緯について，ご説明をさせていただきました。</p> <p>このことを踏まえまして，市長，議長と協議をした結果，5市町連絡会を発足し，百里基地における航空機問題等に関し，百里基地周辺の行政及び議会関係者が相互の連絡体制を密</p>	

にし、問題の解消を図ることを目的として設立いたしました。

内容につきましては資料1にあります5市町連絡会規約、その次に会員名簿でございますのでご覧ください。

次に、NHK放送受信料の見直しについてでございます。

NHK放送受信料の見直しにつきましては、先日、長島議員のほうから一般質問にもございまして、小松部長が答弁した内容でございます。自衛隊等の航空機の騒音によりテレビの音声聞き取りづらくなっている地域の方々を対象に、防衛省が昭和57年からNHK放送受信料の一部、年間の上限額として1世帯当たり6,995円の助成をしているもので、飛行場周辺の状況の変化や会計検査院からの指摘などを踏まえ、防衛省が30年から見直すこととしたものでございます。

見直しの内容につきましては、住宅防音工事が完了した世帯につきましては、平成30年8月31日をもって助成を終了、年間上限額の6,995円でございます。

次に、一部住宅防音工事を実施した世帯につきましては、平成30年9月1日からNHK放送受信料の助成に係る上限額を6,995円から3,497円に減額し、平成36年3月31日をもって助成を終了というものでございます。

次に、住宅防音工事を行っていない世帯につきましては、そのまま受信料の助成継続ということで、なお、今後住宅防音工事を行った場合は助成を終了というものでございます。

資料につきましては資料2ということで、個人宛に通知をされたものをご参考にしていただきたいと思います。

PAC-3につきましては、先週9日に防衛省のほうでプレス発表ということで、本日、百里基地において入間基地より第1高射群というところが来まして、それを機動展開訓練ということでございます。よろしく申し上げます。

笹目委員長

基地対策課から説明がございましたが、これらにつきまして皆様方ご質問等がございましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。

荒川委員

住宅防音工事をやって完全に密閉というか効果はどうなの。助成打ち切っちゃうけど。

秋元基地対策課長

私も騒音防止地区に住んでいますが、防音工事をしようがしてまいが、飛行機飛んだときには全く関係なく飛行機の音がもの凄いです。

荒川委員

それじゃ酷い。そんなバカな話しはない、打ち切っちゃうなんて。その辺のところただやったってだけであってきっちり密閉してその部屋聞こえないとかさ、やるのが普通だと思うんだよね。中途半端だよ。そういうことなら要望していかなければならないからどうなんですかその辺。

小松都市建設部長

これは、百里基地周辺のみならず今回防衛省が国全体の制度そのものを国全体として見直したということにはなるのですが、ただ、先日一般質問の答弁の中でも去年の秋頃に一度見直し検討している最中だということで防衛省のほうから情報提供いただいたところなんです。その際、市の姿勢としては今、荒川議員おっしゃられたとおり住宅防音は決して完全とは言えないんじゃないのと、だから会計検査院が防音に対して助成を長年渡ってやってきた云々というのは会計検査院が言っている、実際それだけの防音効果が現実的には上がってないということからすると、現実と理屈はあっていないじゃないのというような形で、だからこういう制度に関してはやっぱり防音工事の実態をよく把握し、それが完璧に出来ていますよというのであればちゃんと説得力もあるけれども、今の状態で見直すのは決まっていることではないねという話は十分差し上げたところでございます。

ただ、それでも結果としては国はこういう見直しを決定してしまったというのが実情でございます。

荒川委員

ちょっと腑に落ちないけどな。

笹目委員長	他にございますか。
関口委員	ちょっとお聞きしますけれども、受信料これは個人的には支払わなくてもいいという現段階ではね。だけど、NHKには防衛省が受信料払っているの。
秋元基地対策課長	その地区に関しては、防衛省のほうで補助しているということです。
関口委員	廃止になるということは、やっぱりもう少し防衛省に文句言わないとダメだね。今、荒川さんからあったように全然変わらないんだからね。
長島委員	今、NHKの補助ということでお話があったんですが、周辺地域ということで22かな、あと5つぐらいの自治体とか住宅団地があるんですが、ここについては例えば今お話ししたように半額補助になっているんですよね。ですから、NHKの請求が半分になって各家庭に請求が来ているわけですよね。その半分は例えば6,995円なんですけど、7,000円とするとそれは7,000円ということでカットして請求しているという。それで、この今いった22地区とその地域はその半分も先ほどお話があったように5,500万の中から補助を受けているんですよ。ですから、全体的にみると0というような形になっているんですね。あとは今の騒音は私も目の前が1キロはないんですが滑走路になっていて、これはやっぱりうるさいですよ。特に今はF-4（ファントム）古い飛行機が飛んでいて、あと2年ぐらいにならないと変わらないです。ですから、今の時期が一番騒音も大きいというような状況ですね。
笹目委員長	その他にございますか。ないようですので、次に移ります。 2、空港対策課報告について協議事項といたします。
小川空港対策課長	それでは、空港対策課のほうからはお手元の資料に基づきまして、現在の茨城空港の利用状況、また、今後のチャーター便等につきましてご説明をさせていただきます。 ページにつきましては、右方上にページ番号ふらせていただいております。ご確認いただければと思います。 まず、年度別の搭乗者数ということでございまして、平成29年度12月末、これは東京航空局の確定値で数字をあげさせていただいているところでございます。 51万6,442人というところでございますが、1月の速報値というのがまだ確定ではありませんが、5万弱という数字が出ております。 今後、2月3月とございますので、28年度61万2,316人は大きく超えるのではないかと見込んでおるところでございます。 2ページをご確認いただきたいと思っております。 こちらは、空港への来場者数の推計でございます。 29年度2月末現在で、132万9,600人ということで、6年連続しまして100万人を大きく上回っております、これまでの来場者累計は976万人ということでございます。県の予想ではこの5月ゴールデンウィークの前後におきまして、1,000万人を達成するのではないかとということで、予定としましては来場者1,000万人イベントも予定されているというお話も聞いているところでございます。 続きまして、ページをおめくりいただきまして3ページでございますが、こちらは去る2月に新しく2名の空港応援大使を採用しまして、現在4名、顧問の方を入れまして合わせて5名ということで、空港のPR活動をしている状況を県内外の活動状況について一覧とさせていただきます。 続きまして、4ページでございます。29年度に実施しております大きな事業のみでございますが、茨城空港利用促進協議会で実施いたしました事業内容等につきまして写真を添えまして掲載をさせていただいておりますので、後ほどご確認いただければ幸いです。 続きまして、ページをおめくりいただきまして5ページのほうをお願いいたします。 3月25日より新しくダイヤが改正になります。 便数につきましては、現在運行しております便数と変更がございません。

札幌便が1日2往復、神戸便1日2往復、福岡便1日1往復、那覇便直行1日1往復です。また、国際便につきましては上海便が現在運行しているという状況で、同じように水曜日を除きます週6便ということで運行していただけるということでございますので、大変有り難く感じているところでございます。

6ページにつきましては、先ほど冒頭に申し上げましたチャーター便関係でございます。3月1日と3月8日とそれぞれ台湾からタイガーエア台湾(LCC)ですが、空港のほうでお迎えをさせていただいております。

また、こちらの航空会社におきまして、台湾プロムグラムチャーター便がこの3月26日から10月25日の約7ヶ月間、月曜・木曜ということで運行されます。

そういうことで、3月26日初日におきましては、空港ビルのほうでセレモニーを開催すると県のほうからご連絡をいただいているところでございます。

また、国内線チャーター便につきましては、このところ複数チャーターが運航されております。

運行会社はFDAということで、静岡県にあります航空会社でございますけれども、種子島チャーターでございます。既に運行開始しております。

次に、横に見てまいりますと、高松チャーター、隠岐チャーター、小松チャーター、岡山チャーターということで、複数のチャーター便が運行される予定でございます。

特に小松と岡山のチャーターにつきましては既に完売されているという状況ということでお聞きしているところでございます。

今後、5月、7月辺りに新たなチャーター便が増勢されるともお聞きしておりますが、わたしたちもとしましても引き続き県と連携を図りながら安定的な来場者数、乗客数を確保しながら話題性に富む様々なイベントを立案・実施し、賑わい作りに貢献してまいりたいと存じます。

簡単なお説明で申し訳ございませんが、ご説明のほうは以上で終わりにさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

笹目委員長

ありがとうございました。

今の説明につきまして、何かご質問ありましたらお願いします。

鈴木委員

空港対策課でこういうことをやっているということなんですけど、具体的に小美玉市で取り組んでいるというか、何かこういうのがあるという状況は分かるんですけど、どういうことを具体的に取り組んでいるんでしょうか。

小川空港対策課長

鈴木議員さんのご質問の件ですが、4ページの29年度の事業につきましては、基本的に県のほうからファントム2機が置いてあります航空広場をお借りしております。管理も市のほうで行っており、また、ボランティアの方のご協力もいただいております。資料で見ていただいた事業は全て自主事業で賑わい作りということで市内の方は勿論ですが、市外の方県外の方も多数ご参加いただいて、まず、空港のPRということで行っております。

また、こちらに出しております「ゆめ未来芸術展」ですが、お陰様で去る2月3日第10回目ということで、鈴木議員さんにも当日お出いでいただいておりますが、各会の著名人のグラフィックデザイナーの先生方にもお出でいただいて、今年は盛大に出来ました。過去最高の1,194点の展示作品の応募がありました。こちらにつきましても市内の小学校、中学校、高校の生徒さん以外にも、市外の生徒さんからも応募をいただきましたということで、こういった事業も進めながら茨城空港のPRに繋げていければというふうに考えております。以上でございます。

鈴木委員

こういう4ページの事業だったんですね。

例えば、この6ページのいろいろなチャーター便に関して、例えばこういうのを誘導するために県と協力して何か取り組みというか、チャーター便への取り組みというのは市でどういうことを行っていますか。

小川空港対策課長	<p>チャーター便につきましては、基本的には各旅行会社がツアーを造成しております。県のほうでもかなり旅行会社さんのほうにアピールをいただいているので、わたしども市のレベルで旅行会社様のほうへアプローチするというのは中々難しい状況でございます。このチャーター便の運行の際には県のほうと協力しまして、おもてなしということで、市のマスコットキャラクター「おみたん」を使って台湾からお見えになったお客様をお迎えしたり、出国される方をお見送りしたりというような活動を行っているところでございます。以上でございます。</p>
鈴木委員	<p>小美玉市がこれから生き残っていく上で茨城空港は欠かせないと思って、本当に茨城空港は便利だと思うんです。こんなに近くて北に旅行するのも南に旅行するのも外国行くのにも旅行好き集まれというぐらいの小美玉市に住むと夏の暑いときは北海道に旅行に行けますよ、冬の寒いときには沖縄にすぐ行けますよ、北にも南にも西にもいろんなところに行けるという旅行好き集まれみたいなそういう市の売り方もあるかなと思って。しかも更にチャーター便でいろんなところを組んでいただければ行けるというのは勿体ないと思うので、これを小美玉市としてもアピールとか考えているところはありますか。</p>
小川空港対策課長	<p>こちらについては、市のホームページ、広報紙、その他無料のメディアなど、あとはフェイスブック、特に先ほど申し上げました応援大使の活動もこれに絡んでまいりますので、応援大使のほうでフェイスブックをともし若い方々を中心にリアルタイムで情報提供しているところでございますので、今後もそういったものを有効に活用していければと考えております。</p>
鈴木委員	<p>例えば市民の方にこういうふうになったときに、何かサービスというか利点というか茨城空港を市民の方が使ったときに、1,000円とか補助金出すとか何か小美玉市民へのアピールというの何か考えられることをやってほしいなと思っているのですがどうでしょうか。</p>
小川空港対策課長	<p>I B Rということで、県のほうではカードを作りまして、おそらくお持ちと存じますが、</p>
鈴木委員	<p>これですか。</p>
小川空港対策課長	<p>そうですね。航空券の半券を10枚貯めると1万円のキャッシュバックがございます。市のほうでも財源を探しながら少しでも今、鈴木議員さんからお話があったようなことに、少額でもそういったものが出来るようなことを今後勉強していきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。</p>
鈴木委員	<p>以上です。</p>
笹目委員長	<p>他にございますか。</p>
荒川委員	<p>これ見て私、失敗したなと思っているんですよ。小松チャーターだったら11日くらいから私、新幹線で4日くらい行くんですよ。電車で行くと荷物持って容易じゃないから茨城空港からこういうのが出てるというのをどんどん出してくれると。だいたい若い人は忙しくて行かないんだから年寄り向けに何かPRしてくれればとかね。これ失敗したなと思っているんですよ。何とかこの辺改善してもらえないかな。旅行会社から来るときは間際になっちゃうんだよね。わたしみたいに忙しいんだか暇な人間は、2ヶ月3ヶ月前から予約しちゃうからいい企画のときはすぐなくなってしまうんですよ。わたしなんか特別扱いでもってわざわざ企画のやつが来るんだけど、そんだったら1日遅れたらなくなっちゃうわけですよ。茨城空港から何回も行ってますけども、電車で行くのは大変なんだよ正直言って年寄りは、その辺のところちょっと。</p>

小川空港対策課長	今、荒川議員さんからもお話ありましたと思いますが、県のほうから速報でプレスリリースで入って来たタイミングで、速やかにうちのほうとしましても対応を図っている状況ですが、より迅速に情報提供出来るように今後努力してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。
笹目委員長	よろしくお願いたします。
荒川委員	今まではそういうふうな旅行で茨城空港を使ったリストがあるでしょうよ。そういうところに送ってあげれば早いよね。全部の住民にばあっと出したても当てもないところに出してもしようがないんだから、そういう人のリストあるんだからそこへ送れば。旅行会社などはみんなそうやって送ってくる訳だからね。それぐらいやったほうが効率いいかなど。楽しみにして待っています。
小川空港対策課長	大変貴重なご意見ありがとうございます。いろいろと勉強して検討していきたいと思ます。
笹目委員長	<p>他にございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【「なし」と呼ぶ声あり】</p> <p>それでは、この件は終了し、3、その他に入りますが、これより議会案件に入りますので執行部の方は退出願います。ご苦労様でした。 (執行部退席)</p> <p>このたび、私、一身上の都合により委員長を辞職いたしたく、辞職の許可及び委員長の選任につきまして、副委員長からお諮り願います。</p>
藤井副委員長	<p>ただいま、委員長笹目雄一君から、委員長の辞職願が提出されましたので、委員長が決するまでの間、委員長の職務を行います。それでは、委員長の辞職についての件を議題といたします。議会委員会条例第18条の規定により、笹目雄一君の退席を求めます。 (笹目雄一委員長退席)</p> <p>お諮りいたします。笹目雄一君の委員長の辞職を許可することにご異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり) 異議なしと認めます。よって、笹目雄一君の委員長の辞職を許可することに決しました。 (笹目雄一委員入場)</p> <p>ただいま委員長が欠員となりました。委員長の選任についてでございますが、議会委員会条例第9条第1項の規定により、委員会において互選することとなっておりますので、これより互選いたします。</p>
全委員	<p>【委員長の互選】</p>
藤井副委員長	<p>百里基地・茨城空港対策特別委員会において互選の結果、委員長に荒川一秀君が選任されました。これをもって、私の職務は皆様のご協力のもと、無事終了いたしました。ご協力ありがとうございます。それでは、荒川委員長、委員長席へご着席ください。</p> <p>なお、このたび、私、一身上の都合により副委員長を辞職いたしたく、辞職の許可及び副委員長の選任につきまして、委員長からお諮り願います。</p>
荒川委員長	まず、最初に特別委員会の委員長というわけで、満場一致ということでほんとに申し訳なく思っています。実際、正直私の気持ちとしましては、茨城空港にしましても、百里基地・

茨城空港対策特別委員会に対しましても、笹目前委員長地元であり流通している方で一番適任だと私は当初から思っておりましたが、一身上の都合ということでございますので、ここはやっぱり皆さんで助け合うその気持ちで甘えてお受けいたしますので、皆様方ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

ただいま、副委員長藤井敏生君から、副委員長の辞職願が提出されましたので、副委員長の辞職についての件を議題といたします。議会委員会条例第18条の規定により、藤井敏生君の退席を求めます。

(藤井敏生副委員退席)

お諮りいたします。藤井敏生君の副委員長の辞職を許可することにご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、藤井敏生君の副委員長の辞職を許可することに決しました。
(藤井敏生委員入場)

ただいま副委員長が欠員となりました。副委員長の選任についてでございますが、議会委員会条例第9条第1項の規定により、委員会において互選することとなっておりますので、これより互選いたします。

全議員

【副委員長の互選】

荒川委員長

百里基地・茨城空港対策特別委員会において互選の結果、副委員長に植木弘子君が選任されました。それでは、植木弘子副委員長、副委員長席へご着席のうえご挨拶をお願いいたします。

植木副委員長

皆様からご推薦いただきまして、この度副委員長の任を配することになりました。若輩者ですが皆様のご指導をいただきながら精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

荒川委員長

ありがとうございました。副委員長に植木君ということで、私も植木さんは地元でありますから先ほどの騒音の問題とか、私のほうはあまり騒音が聞こえないものですからよく二人でこの委員会やっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(「お願いします」の声あり)

植木弘子副委員長、閉会の宣言をお願いします。

植木副委員長

以上で、百里基地・茨城空港対策特別委員会の案件は終了いたしました。これをもって、百里基地・茨城空港対策特別委員会を閉会いたします。

閉会 午後5時40分